



ごあいさつ

本学は、我が国の公立女子大学として、最も歴史と伝統を誇る名門大学であり、全国の国・公立大学の定員に対する志願者数の比率である競争率で、常に上位を独占しており、全国の受験生にとって「最も入学したい大学」の1校です。

本学は、我が国で最初に看護教育を4年制の大学として取り組み、今日では、看護学士のみならず、看護学修士・看護学博士の学位を取得できる大学院研究科を併設しており、現在では全国で120大学にも増設されている看護学系大学の「目標」となる大学となっています。さらに、本学の卒業生が国際看護協会と日本看護協会の会長に各々選ばれ、両名が国内外の看護職の頂点に立っています。

高知県は古くから女子高等教育に取り組む「先進県」という風土を持っており、今日では、本学は公立大学としてはわずかに三大学にまで減少している数少ない公立の女子大学となっています。

今日、我が国は急速な少子・高齢社会を迎えており、我が国の大学をめぐる背景はきわめて厳しいものとなっています。このような状況のなかで、本学では1998年以降「学内改革」に取り組んでおり、大学の管理・運営の幅広い場面で改革が進んでいます。

教育については、全学生の共通必修科目として、英会話能力の向上とともに、学際的な「土佐学」と「女性学」を設定しています。

研修員の皆さんが所期の研修目的を果たし、同時に本学でのキャンパス・ライフと高知県での生活を十分にエンジョイしていただければと期待しています。

学 長 青山 英康
